



年頭の御挨拶



明けましておめでとうございます。

公益財団法人広島県私立幼稚園連盟の皆様におかれましては、清々しく新しい年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

また、平素から本県の乳幼児教育の発展に多大な御貢献をいただき、厚くお礼を申し上げますとともに、この度、設立70周年を迎えられることを心よりお祝い申し上げます。

さて、昨年4月1日に、国において「こども家庭庁」が創設され、こどもの視点、子育て当事者の視点に立った政策立案等をこども政策の基本理念に定めるとともに、就学前のこどもの成長の保障、幼児教育・保育の確保と質の向上が今後取り組むべき施策の一つとして掲げられております。

本県においては、令和4年3月に、乳幼児期の教育・保育の基本的な考え方と、それを実現するための施策の方向性を示した「『遊び 学び 育つひろしまっ子!』推進プラン」を改定し、更なる取組を推進しているところでございます。

今後も、幼児教育の質の更なる向上を目指す貴連盟の取組を支援するとともに、経常費補助の充実や、園児の安心・安全の確保、幼稚園教職員の方々の処遇改善の方策などについて取り組んでまいりますので、皆様には、本県の幼児教育の充実に、一層のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

新年の門出に当たり、公益財団法人広島県私立幼稚園連盟の今後ますますの御発展と皆様の御健勝、御多幸を心から祈念いたしまして、新年の挨拶といたします。

令和6年元旦

広島県知事 湯崎 英彦

新年のごあいさつ



(公財) 広島県私立幼稚園連盟

理事長 山中 隆司

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は広島県私立幼稚園連盟の様々な事業に対しまして、皆様のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。コロナ禍で計画通りに園運営ができなかった時間を取り戻すよう、各園で様々な取り組みがなされ、子ども達が心身ともに健康で、生きる力の礎を蓄えてきていることとお慶び申し上げます。

令和6年度で幼稚園連盟発足70年を迎えます。私立幼稚園の魅力を各方面に発信し、認知していただき、やりがいを持って子どもたちが社会の一員として成長する事を願い、日々笑顔で保育に従事できる礎を築いていただいた先陣に敬意を払い、心中より感謝申し上げます。

しかしながら、今幼稚園が置かれる状況は、少子化が予想外に進み、「異次元の子育て支援」による諸対策に大きな期待を寄せているところです。広島県では、処遇改善手当の対象者の拡大、諸物価高騰への支援等、幼稚園連盟への支援を拡充していただいておりますが、引き続き経常費補助金の拡充をお願いしているところです。

今年度より、こども家庭庁が発足し、我々を取り巻く環境も変革の時代へと変遷してきているところではありますが、大きな期待を寄せています。子ども・子育て支援新制度が発足された平成27年以来、公定価格の見直しもなされぬまま現在に至っています。消費税財源での公定価格の増額が見込めないのであれば、子育て支援勘定に対して新たな財源確保を期待しているところです。

令和6年、甲辰年です。十二支の中でも唯一架空の生き物ですが、水や海の神としてまつられてきた龍でもあり、龍が現れると、めでたい事が起こるともいわれている様です。令和6年が、龍にあやかって皆様にとって、めでたい年であります様お祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



広島県私立学校教育功労者表彰

令和5年11月21日広島県私立学校教育功労者表彰の受賞者として、龍花康丸先生（学校法人龍花学園理事長）、中丸元良先生（学校法人有朋学園理事長兼かえで幼稚園園長）が栄えある広島県知事表彰を受賞されました。

心よりお祝い申し上げます。



左から中丸先生、龍花先生、湯崎知事

受賞に寄せて ～受賞者の方から～

龍花康丸先生

この度、教育功労者表彰の受賞をいただき、感謝申し上げます。
ご縁により昭和51年から幼児教育に携わらせていただく中で、「ありがとうが言える・感謝の心を育てる」を基本に過ごしてまいりました。園の先生方・私を導いてくださった先人の方々・他多くの方々のおかげと感謝申し上げます。これからも努力精進してまいりたく存じます。この度はありがとうございました。

中丸元良先生

この度、私立学校教育功労者表彰をいただきました。私立幼稚園で46年、私立大学の非常勤講師としても21年勤めましたが、一人一人を大切にされた個性ある教育は、私学の命であり誇りであることを改めて痛感しています。ともに力を合わせてきた私学仲間の先生方、自園の職員たち、保護者の皆様、そして何よりも子どもたちに感謝の念を抱きつつ、これからも微力を積み重ねてまいりたいと思います。

会議報告

次のとおり各種会議の報告をいたします。

令和5年度第6回理事会

令和5年12月12日（火）14：15～16：00
ANAクラウンプラザホテル広島 3階「アカシア東」にて開催

○議案

協議事項③について、協議後、当日の追加議案として、次のとおり審議された。

第15号議案 出資金（第一種、第二種）の返還について

第16号議案 公益財団法人広島県私立幼稚園連盟貸付金業務規程の一部改正について

第17号議案 公益財団法人広島県私立幼稚園連盟財務委員会規程の一部改正について

・審議の結果、出席理事全員一致で可決した。

○協議事項

①令和6年度広島県私立学校振興費補助金に関する要望について

②表彰規程の見直しについて

③新規貸付金業務の休止等について

・審議の結果、出席理事全員一致で承認した。

○報告事項等

理事長・副理事長の職務執行状況の報告、広島県私立学校教育功労者表彰被表彰者の決定について、各部各委員会報告、全日関係団体報告、後援名義使用承認報告、今後の行事予定について報告があった。

監事監査

令和5年11月14日（火）

広島ガーデンパレスにて、米川晃監事、藤井行夫監事、猪野良雄監事3名が、正副理事長の立会いの下、令和5年度上半期の事業及び会計監査を行った。

監査では適正に処理されている旨が告げられた。

研修会報告

「ニューリーダー研修会」

12月4日に広島ガーデンパレスにおいて、ニューリーダー研修会が行われ、27名の先生方が参加されました。

講師と演題は以下のとおりご報告いたします。



講演1 「自園のこと語り合いましょう」

ファシリテータ：とんぼの会会長 猪野一乗（認定こども園聖徳幼稚園）

講演2 「次世代が事業継承していく上での諸課題・諸問題について、ニューリーダーと共に考察する」
～加速する少子化・衰退する地方において、今後どのようにハンドリングしていくか～

講師：学校法人洋光学園 理事長 堂山宗敬



◆先進事例調査 2023◆

総務委員会は2023年度の先進事例調査として、11月21日(火)・22日(水)に東京都立産業貿易センターで開催された「保育博2023 ー保育・教育ビジネス&サービスフェア」に、山中理事長、龍永副理事長、久保田総務委員長ら6名で参加してきました。

170社を超える保育・教育関連事業者の出店・プレゼンテーションのほか、先進的な取り組みを行っている園の保育者採用や働き方改革、ICT化、防災、人材育成等についての研修やトークショー、保育業界専門の社会保険労務士によるセミナー、遊びや職員会議のワークショップ等がひっきりなしに行われており、その場にいるだけでたくさんのエネルギーをもらいました。

こども家庭庁の創設やだれでも通園制度の開始など、昨今何かと話題の多い保育業界ですが、こどもを真ん中にして社会を作り変えていこうとする大きな試みには、産業界からも注目が集まっていると感じます。

最新のテクノロジーの応援もいただきつつ、より良い保育環境、より働きやすい職場環境をうみだしていけるよう、これからも努力しようと思った2日間でした。

理事・総務副委員長 武田修子 認定こども園ほうりんこころ幼稚園



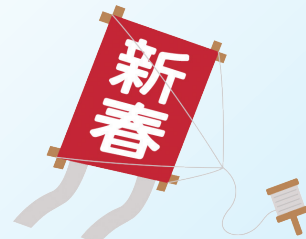
事務局だより

行事予定

- 1月23日 私立学校法概論・寄附行為作成実践研究#2 / 広島ガーデンパレス
- 1月30日 設置者・園長研修会 / ANA クラウンプラザホテル広島
- 2月21日 私立学校法概論・寄附行為作成実践研究#3 / 広島ガーデンパレス
- 3月26 - 27日 新採用教員研修会 / 広島ガーデンパレス

各種アドバイザーのご案内

- 相談事業アドバイザー 弁護士 菊永将浩 先生
加盟園で生じたトラブル等を迅速に解決するために弁護士の菊永将浩先生がアドバイザーとして相談窓口を開設しています。
詳細は事務局へお問い合わせください。電話 082-259-3567



広島県私立幼稚園連盟無料職業紹介所 わーくけんよう からのお知らせ



現在、就職アドバイザーの園訪問相談活動を行っています。
相談希望の加盟園におかれましては、インスタのDM からでもお申込を受付けておりますので、お気軽にご連絡ください。
事務局での電話相談日についてもインスタやホームページに掲載していますのでご確認ください。
わーくけんようインスタのフォローも、どうぞよろしくお願いいたします。



あ と が き

今、幼児教育では「非認知能力を育てる」ことの大切さが見直されています。非認知能力とは幼児期にノーベル経済学賞のヘックマン博士の研究により、質の高い幼児教育を受けた子どもとそうでない子どもとでは、その後の学歴や収入などに大きな違いが生じたというものです。「非認知能力」とは読み・書き・計算などの「認知能力」ではない力であり、数値化しにくい能力のことです。子どもたちが何かに熱中・集中して取り組む姿勢、自分の気持ちをコントロールできること、他者とうまくコミュニケーションができること、自分を大事に思えること、といった力のことです。すぐに成果がでるものではなく、あとになってでてくることから「あと伸びする力」ともいわれます。

この「認知能力」は広い遊び場であったり、砂場や木々に囲まれた環境、植物、動物や昆虫、土にふれるといった体験により生まれ、そういう環境に乏しい場所では育ちにくいことがわかっています。幼稚園・認定こども園の環境は、まさにこの「あと伸びする力」をもった子どもたちが育っています。(K)